

みんなの力で 復興 スケラム!

広田湾の海中で地酒を熟成。
ここにしかない「体験」で
地域に活力をもたらしたい。



広田湾海中熟成プロジェクトに取り組む広田湾遊漁船組合の皆さん。右端が事務局の鍛冶川直広さん。

広田湾遊漁船組合(広田湾漁業協同組合)／陸前高田市

陸前高田市の広田湾で、ここにしかない体験で観光客を呼び込むプロジェクトが行われています。それは船に乗り込み、日本酒やワインを海に沈める海中熟成酒体験。約10カ月間、波に揺られると、お酒はまろやかな味わいに変化。違いが分かるように、海中に沈める前と熟成した後のお酒がセットで届けられます。

体験を主催するのは、広田湾遊漁船組合。海の楽しさや海産物のおいしさ、漁業について知ってもらい、地域の活力につなげることを目的に設立されました。「初の試みを漁師たちも楽しんでいきますし、子どもの頃から慣れ親しんだ浜を元気にしたいと意欲的です」と、事務局の鍛冶川直広さん。

現在は、市内に宿泊する観光客向けの体験ですが、今後は新たな企画も検討中。蔵元やワイナリーの見学ツアー、飲食店と共同での料理開発、地元の高校を卒業する際に海中に沈めたお酒を成人した後、に楽しんでもらう企画など、地域と連携を深めながら、さらなる魅力を引き出していきます。



地域との連携

日本酒やワインのほか、震災後に交流が生まれた地元企業の特産品を熟成する計画も。地域との絆をさらに強めるきっかけにもなっています。



自分だけのカルテ

参加者が体験の様子を自分で記録するマイカルテは、熟成酒と一緒に届けられます。描かれた海の生物たちは、広田湾の豊かさを表現しています。



海中熟成酒体験

船に乗って漁場を見学した後、養殖棚にお酒をつるして約10カ月間じっくり熟成します。漁師さんとの触れ合いも、楽しみの一つです。

